

デジタルで聴く明治・大正・昭和の音！！

大阪市立図書館では、国立国会図書館の「歴史的音源」
(愛称 れきおん) がご利用いただけます。

♪ 歴史的音源とは？

「歴史的音源」とは、1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源です。2013年9月までに約5万音源が、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)によってデジタル化されました。国立国会図書館が館内及び提供参加館の公共図書館に向けて配信しています。

図書館で

音楽が？



きける？

♪ 大阪市立図書館ではデジタル化された約5万の音源すべてをお聴きいただけます

国立国会図書館は、著作権(著作隣接権)の保護期間が満了した音源をインターネットで公開しています。大阪市立図書館は配信提供参加館として、これに加えて国立国会図書館内限定公開の音源も聴くことができます。

♪ 利用するには？ インターネット公開音源は、どなたでもインターネットからお聴きになれます。「国立国会図書館/歴音参加館限定音源」は、館内の多機能OMLISでお聴きになれます。詳しくは多機能OMLISに設置している利用案内をご覧ください。なお、複製やダウンロードはできませんので、ご了承ください。

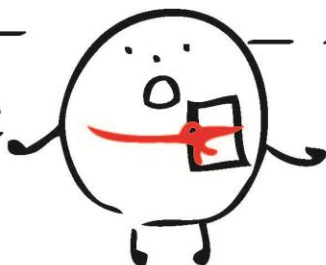


例

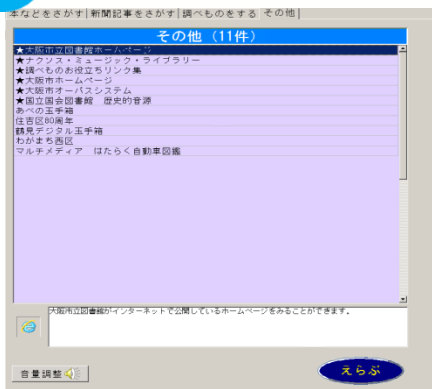
- 『落語 くしゃみ講釈(一)～(四)』(ニッポノホン、1930)[実演]: 笑福亭松鶴(五代目)
- 『浪花節 石松代参(一)～(四)』(ヒコーキ、リーガル、1929)[実演]: 広澤虎造
- 『俳句朗読: 蕪村、芭蕉、子規』(コロムビア、1935)[実演]: 高濱虚子
- 『ジャズソング: 大阪行進曲』(オリエンツ、1929) 作詞: 松本英一、作曲: 近藤十九二、編曲: 近藤十九二[実演]: 井上起久子、日蓄ジャズバンド
- 『大阪夜曲』(ビクター、1951) 作詞: 佐伯孝夫、作曲: 佐々木俊一、編曲: 松井八郎、歌: 渡辺はま子、伴奏: 日本ビクター管弦楽団
- 『嵐を呼ぶ男』(テイチク、1958) 作詞: 井上梅次、作曲: 大森盛太郎、歌: 石原裕次郎

ほかにも

まだまだ



あります。



当館多機能OMLISの初期画面で「その他」タブを開き、「国立国会図書館 歴史的音源」を選択し、「えらぶ」をクリックすると、歴史的音源のトップページにジャンプします。

レベル

提供元レベルは、日本放送協会(NHK)、ビクターエンタテインメント、EMIミュージック・ジャパン、日本コロムビア、キングレコード、テイチクエンタテインメント(順不同)の6レベルです。

ジャンルで探す

クラシック・ジャズ・歌謡曲・邦楽・唱歌などの楽曲や、落語・講演などの多様な音源が収録されています。それぞれジャンル別に音源を探すことができます。

音源紹介を読む

テーマに沿った解説を読むことができます。SPLレコードが出された当時の時代背景や、楽曲、作詞者、作曲者などについて紹介されています。また、本文中で紹介している音源を聴くことができます。

音源紹介一覧



- ・邦楽の近代 — 義太夫節を中心に —
大西秀紀(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター非常勤講師)
- ・寄席話芸のSPLレコード
岡田則夫(大衆芸能研究家/SPLレコード収集家)
- ・「歴史的音源」に収められた金沢蓄音器館のレコード
八日市屋典之(金沢蓄音器館館長)
- ・大衆歌謡を築いた人たち
倉田喜弘(芸能史家)
- ・日本の子供の歌発達史 ～「わらべうた」からSP盤の終焉まで～
長田暁二(音楽文化研究家) など

デジタルで聴く明治・大正・昭和の音

大阪市立図書館では、国立国会図書館の「歴史的音源」(愛称れきおん)がご利用いただけます。

